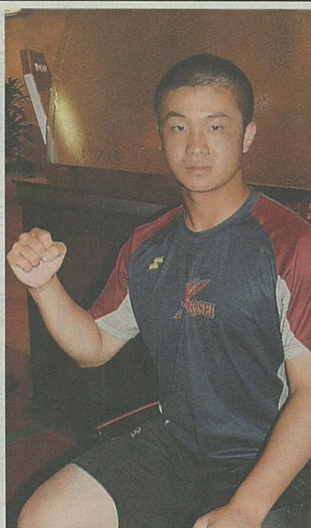




## 光星、あす智弁学園（奈）戦



八学光星の近藤

### 鍵握る「3番」対決

### 光星・近藤「負けるつもりない」

全国高校野球選手権で本県代表の八学光星は12日の2回戦、智弁学園（奈）と対戦する。光星の3番打者・近藤遼一（奈良出身）は、青森大会で全国トップの20打点を挙げ、大会屈指のスラッガーとして注目を浴びる。

地方大会で近藤は、6試合で24打数14安打20打点、打率5割8分3厘を記録した。長打は本塁打6本、二塁打が3本。一方の坂下は、5試合で22打数15安打13打点、打率は10打数以上の打者の中では、全国トップの6割8分2厘をマークした。長打は本塁打5本、三塁打1本、二塁打5本。ともに遜色ない数字を残す。

2人は中学時代、奈良のクラブチームにそれぞれ所属し、地区リーグで幾度も対戦した。当時から互いの実力を「打撃だ

はともに、2回戦の鍵を握る選手として近藤と坂下の名前を挙げた。近藤は「チームとしても個人としても、坂下に負けるつもりはない」ときっぱり。一方の坂下も「自分の方が3番として上だ」ということを試合で示すと闘争心をむき出しにしている。（大久保拓地）

光星の仲井宗基監督と智弁学園の小坂将商監督

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです